

令和3年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人豊橋文化振興財団	
施 設 名	穂の国とよはし芸術劇場 (PLAT)	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	25,191	(千円)
	公 演 事 業	19,128 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	6,063 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	PLAT 小劇場シリーズ チェルフィッチュの<映像演劇>	5月14日(金) ~21日(金)	作・演出：岡田利規 映像：山田晋平 出演：足立智充、椎橋綾那	目標値	650
		アートスペース		実績値	244※
2	イキウメ「外の道」	7月3日(土)	作・演出：前川知大 出演：浜田信也、安井順平、盛隆二、森下創、大窪人衛／池谷のぶえ ほか	目標値	1,200
		主ホール		実績値	406※
3	ぷらっと文化祭 柳家喬太郎 独演会	9月18日(土)	出演：柳家喬太郎	目標値	558
		主ホール		実績値	525
4	ぷらっと文化祭 カンツォニエーレ・グレカニーコ・サレンティーノ ライブ	9月19日(日)※ 中止	※新型コロナウイルス感染症の影響により海外からのアーティスト招聘は難しいと判断したため、中止。	目標値	558
		主ホール		実績値	—
5	ぷらっと文化祭 アコースティックライブ	9月20日(月・祝)	出演：中村中、アルケミスト、中尾諭介(In the Soup)	目標値	580
		主ホール		実績値	113※
6	ハルモニア・レニス「シェイクスピアの旋律」	10月22日(金)※ 出演者の変更	※レ・タンブルが来日不可となり、ハルモニア・レニスのみ出演：水内謙一(rec)、村上暁美(cm&or) ほか	目標値	340
		アートスペース		実績値	85※
7	「ザ・ドクター」	12月10日(金) ~12日(日)	作：ロバート・アイク 翻訳：小田島恒志、演出：栗山民也 出演：大竹しのぶ、橋本さとし ほか	目標値	1,750
		主ホール		実績値	1,669
8	PLAT 小劇場シリーズ PLAT 近藤芳正 Solo Work「ナイフ」	1月29日(土) ・30日(日)	原作：重松清「ナイフ」 脚本・演出：山田佳奈(口字ック) 出演：近藤芳正	目標値	310
		アートスペース		実績値	307

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	とよはしアートフェスティバル2021「大道芸 in とよはし」	5月3日(月・祝) 関連イベント	出演者：チャラン・ポ・ランタン(唄とアコーディオン)、加納真実(マイムコメディ)、博雅会(雅楽) ほか	目標値	3,800(内訳：入場者3,760+ボランティア参加40)
		5月4日(火・祝)~5日(水・祝)※ オンライン配信あり			
2	「めにみえない みみにしたい」	8月28日(土)・29日(日)	作・演出：藤田貴大 音楽：原田郁子 出演：伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子	目標値	入場者数255
		アートスペース		実績値	294
3	セントラル愛知交響楽団演奏会 中学生学校鑑賞事業	9月7日(火)※ 動画収録	※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校鑑賞事業が中止となった。授業教材用に演奏動画を収録した。	目標値	入場者数800
		主ホール※ 会場変更		実績値	豊橋市内の中学校22校※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価			
<p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>			
<p>穂の国とよはし芸術劇場では、舞台芸術を中心とした芸術と文化と人の出会いを生み出し、市民の交流と創造活動の拠点となることで、豊橋市及び東三河地域の芸術文化の振興と実演芸術の水準向上を図り、芸術文化を活用した市民の交流と創造の活性化を目指すことをミッションに、事業を組み立て実施している。</p> <p>令和3年度について、ほぼ全ての事業が予定通りに進められ、公演事業・普及啓発事業ともに計画通り実施出来たとともに、目標を達成することができた。</p> <p>当初の計画から変更・中止・目標に達成しなかった等の詳細は以下の通り。</p>			
事業番号	事業名	計画からの乖離点	理由
公演事業1	PLAT小劇場シリーズ チェルフィッチュの<映像演劇>	入場者数が目標を達成しなかった	感染症対策のため一度に観劇できる定員数を減らしたため。公演期間に愛知県に緊急事態宣言が発令されたため集客が見込めなくなった。
公演事業2	イキウメ「外の道」	入場者数が目標を達成しなかった	感染症の影響が継続する中で、当初予定していた入場者数に到達することが難しいと考え、1回公演に変更した。
公演事業4	ぶらっと文化祭 カンツォニエーレ・グレカニーコ・サレンティーノライブ	中止	海外からの招聘が困難となったため
公演事業5	ぶらっと文化祭 アコースティックライブ	入場者数が目標を達成しなかった	感染症対策のため、客席入場率を上限の50%とする必要があったため。また、公演時期に愛知県緊急事態措置が発令されたため、集客が見込めなくなった。
公演事業6	古楽器コンサートレ・タンブル&ハルモニア・レニス	①出演者変更 ②入場者数が目標を達成しなかった	①海外在住者の招聘が困難となり、国内在住者のみで実施。 ②学校鑑賞事業が取りやめ、1回公演となったため。
普及啓発事業1	とよはしアートフェスティバル2021「大道芸 in とよはし」	参加者数が来場者とオンライン視聴で積算した	会場予定地として計画していた豊橋市内の会場での実施が不可能となり、劇場のみで実施。オンライン配信することで劇場に来づらい人にも鑑賞機会を提供した。
普及啓発事業3	セントラル愛知交響楽団演奏会 中学生学校鑑賞事業	動画収録と配信に変更した	学校鑑賞事業が中止となったため、教材用に演奏家による演奏動画を収録、各学校に配布した。
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>			
<p>◎文化的意義</p> <p>演劇、落語、音楽、小劇場演劇や、舞台芸術の表現方法を拡張する作品の上演や、若年層をはじめとする舞台芸術に接する機会の少ない層を対象にした公演を実施し、豊橋市を中心とする東三河地域での舞台芸術鑑賞機会を提供した。アンケート調査結果では舞台鑑賞のための「来館回数」について、「6回以上」の回答が45%だったことから、繰り返し舞台芸術を鑑賞する層が定着してきていると考える。</p>			
<p>◎社会的意義</p> <p>未だ我々の生活を脅かす新型コロナウイルス感染症の影響で、劇場の取組や舞台芸術活動は以前のような状況まで回復しているとは言えない。その状況下であっても舞台芸術鑑賞の機会に期待する声は多く聞かれ、今年度は計画していた事業の殆どが予定通り実施できた。安心して劇場で舞台芸術を体験する機会を提供することで、市民に潤い豊かな日常生活を提供し、社会や個人の生活に活力をもたらした。</p>			
<p>◎経済的意義</p> <p>アンケート調査では、来場者居住地が「豊橋市内」43%「愛知県内（豊橋市除く）」41%「愛知県外」16%となり、豊橋市外からの来場者が57%であった。感染症の影響で遠方への移動が懸念される世相の中ではあるが、徐々に市外からの人が訪れ、そのことから豊橋市内における来場者の消費行動にも結びついていると考える。</p>			
<p>以上の事から、助成に値する文化的、社会的、経済的意義は継続しているといえる。</p>			

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

新型コロナウイルス感染症が拡大していた5～7月頃、および同時期に宣伝展開が困難だった9～10月公演では集客に苦勞し、公演事業全体での目標における集客数は62.2%に留まった。このような環境下でも、市民の注目を集める魅力的な公演を実施すること、親子で観劇できる公演の実施や、オンライン配信に方向転換するなど臨機応変な対応で新規観客層を開拓し、無料会員の獲得に成功した。また、来場者アンケートによる調査ではリピーター層と豊橋市外からの来場者の割合が増加していることから、文化芸術を必要とし劇場へ来たいという層の期待に応えられたと考えられ、当初の目標は概ね達成することが出来た。

公演事業・普及啓発事業で設定した目標の達成度は以下の通りである。

【公演事業】

- ①目標 魅力ある公演を実施することで、初めて訪れる新規観客だけでなく、繰り返し来場する観客も増やす。
指標：主催事業アンケートでの「来館回数」項目について「6回以上」と回答する割合が4割程度を目指す。
⇒結果：「はじめて」26%、「2～5回」29%、「6回以上」45%
- ②目標 公演等の情報提供と来館者数の増加のため、無料会員制度であるメールマガジンの登録者数を増やす。
指標：メールマガジン購読サービス対象者である「プラットフォーム」の加入者数を前年度比5%増やす。
⇒結果：R2年度33,775名 R3年度37,140名 / R3年度加入者数3,365名 前年度比9.96%増加
- ③目標 幅広い作品を上演することで、これまで以上に広範囲からの来場者数を増やす。
指標：主催事業アンケートでの「居住地」項目について「豊橋市外」の割合50%以上をキープする。
⇒結果：「豊橋市内」43% 「愛知県内(豊橋市内を除く)」41% 「愛知県外」16% ⇒ 豊橋市外からの来場割合57%
- ④目標と指標：実演芸術家(個人・団体)を再度招聘・上演することで劇団等との関係性を深め、劇団の活動の幅を広げるために、H29年度以降、2回以上招聘した実演芸術家(個人・団体)の数をさらに増やす。
⇒結果：複数回招聘した団体23組 ⇒R1年度比で6組増加 ※R2年度は中止公演多数のため根拠から外す。

【普及啓発事業】

- ①目標と指標：コロナ禍において、普段芸術文化に触れることのない人の芸術参加体験を促進するため、「大道芸 in とよはし 2021」では感染症対策を講じた上で劇場外の施設等数カ所と連携し、上演を目指す。
⇒結果：感染症の影響により劇場外の施設との連携はできなかったが、アンケートの来場回数調査で「初めて」41% 「2～5回目」36% 「6回以上」23% という結果から、新規観客層の芸術参加体験を促進できたと考えられる。
- ②目標と指標：初めて、もしくは参加経験の浅い参加者がまた参加したいと思うような満足度の高い事業にするため、「大道芸 in とよはし 2021」来場者アンケートで80%以上から「とても満足」「満足」の回答を目指す。
⇒結果：公演内容「とても満足」50% 「満足」40.9% 「どちらとも言えない」4.55% 「不満」「とても不満」4.55%
- ③目標と指標：「大道芸 in とよはし 2021」事業運営ボランティアが、繰り返し参加したい、もしくは誰かに参加を勧めたいと思う満足度の高いものとする。
⇒結果：実施なし 感染症拡大防止のためにボランティアを公募する形態の事業の実施は困難だった。
- ④目標と指標：「めにみえない みみにしたい」の「こども(高校生以下)」券の販売割合45%以上を目指す。
⇒結果：こども(高校生以下)45.36%を達成し、親子で鑑賞できる演劇公演を実施し観客層の拡大に成功した。
- ⑤目標と指標：豊橋市内の中学生を対象とした学校鑑賞事業を実施し、若い世代が音楽に触れる機会を提供するため「セントラル愛知 中学生学校鑑賞事業オーケストラコンサート」の中学生鑑賞者800名を目指す。
⇒結果：愛知県内に緊急事態宣言が発令され、コンサートの実施不可能となったため、無観客収録し演奏映像のオンライン鑑賞による配信に変更。市内全中学22校の音楽授業の教材として使用し、若い世代が音楽に触れる機会を提供するという目標は実現出来た。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和3年度の各事業について、殆どの事業が当初の計画通り進められた。

令和3年度も、一部の事業において緊急事態宣言の発令による入場制限や、有観客での学校鑑賞事業の取り下げは生じたものの、当初予定していた計画通りに実施出来たものが殆どで、実施が難しかったものについては、その事業ごとに設定した趣旨・目的、ニーズを踏まえて適宜変更し、実施した。

【日程変更・中止した事業】

公演事業4「ぷらっと文化祭 カンツォニエーレ・グレカニーコ・サレンティーノ・ライブ」

公演事業6「古楽器コンサート レ・タンブル&ハルモニア・レニス」

海外から音楽家を招聘するコンサートであるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、海外から音楽家を招聘することが困難であったため、公演事業4は中止、公演事業6は日本在住の音楽家のみが出演するコンサートに変更した。このことに伴う日程変更はなし。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

◎公演事業全体の事業収支差

交付申請時の収入予定額を100%として、実績報告時の収入額が76.3%となり、23.7%の減となった。

交付申請書の支出予定額を100%として、実績報告時の支出額が76.25%となり、23.75%の減となった。

考察：収入の減少に伴い、支出も減少することで、適切な事業費の執行が行われたと考える。収入が減少した理由の一つに、感染症対策のため客席定員の50%を上限とする公演があったため、当初予定していた目標に達成することが困難であった。

◎普及啓発事業全体の事業収支差

交付申請時の収入予定額を100%として、実績報告時の収入額が101.03%となり、1.03%の増となった。

交付申請書の支出予定額を100%として、実績報告時の支出額が85.38%となり、14.62%の減となった。

考察：チケット売上が目標達成したとともに、企業協賛費を獲得したことで、目標より収入が増となった。

【内容変更を行った事業】

普及啓発事業1「とよはしアートフェスティバル2021『大道芸 in とよはし』」の実施会場として穂の国とよはし芸術劇場のほか、近隣の商店街等での開催を予定していたが、感染症対策の影響で劇場外での開催は見合わせたため、穂の国とよはし芸術劇場のみを会場とした。このため入場者数が減となることが見込まれたため、Youtube Liveにて配信を行い、約7,300回の視聴回数となった。普及啓発事業3「セントラル愛知交響楽団演奏会 中学生学校鑑賞事業」は、当初の会場はライフポートとよはしコンサートホールを予定していたが、愛知県緊急事態措置の影響で学校鑑賞事業の実施が中止となった。このため、無観客で演奏予定であった楽曲を収録し、参加を予定していた学校に演奏映像をオンライン鑑賞できるようにすることで、授業内での音楽鑑賞機会を提供した。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

穂の国とよはし芸術劇場では、豊橋市をはじめとする東三河市民のための演劇・舞踊・音楽等の芸術文化の振興と芸術文化を活用した市民の交流と創造活動の活性化を図るため、文化芸術交流施設として平成 25 年 4 月に開館した。開館以降、経験豊かな芸術文化プロデューサーやテクニカルマネージャーをはじめとするスタッフと、芸術監督的役割を担う芸術文化アドバイザーと共に、地域の文化拠点として事業を実施・計画している。

芸術文化アドバイザー

桑原裕子（劇作家・演出家・俳優・劇団 KAKUTA 主宰・平成 30 年 4 月就任）

劇場の方向性や事業等について、芸術文化プロデューサーやスタッフとともに、計画推進している。公演事業 3、5 の「ぷらっと文化祭」は芸術文化アドバイザーの桑原裕子が企画・制作を務め、桑原の提案をもとにして出演者を選出した。

公共劇場との連携

公益財団法人豊橋文化振興財団は、国内の様々な公共劇場と連携し、事業を実施している。

公益財団法人新国立劇場運営財団とは、令和 2 年 2 月に連携・協定に関する協定を締結。この協定では、それぞれの劇場等で実施する公演のほか、人材の交流・育成などについて緊密な協力関係を築き連携を深めることで、劇場の活性化に資するとともに、地域における実演芸術の普及向上、教育及び文化の振興に寄与すること、ひいては豊橋市の芸術文化の振興に貢献することを目指している。また、令和 3 年度の実施した公演事業 8 「PLAT 小劇場シリーズ近藤芳正 solo Work『ナイフ』」は、茨城県水戸市立の公共劇場「水戸芸術館」が俳優の近藤芳正と共同製作して上演した作品を、豊橋でも上演した。当館が製作するオリジナルの演劇公演を国内の劇場で上演することも実施しており、地方発信の優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を、これからも継続する。

人々が集う場・地域における文化拠点としての存在

穂の国とよはし芸術劇場では、開館以前から「とよはしアートフェスティバル『大道芸 in とよはし』」を毎年継続して実施している。令和 3 年度も、感染症対策を講じたうえで実施した（普及啓発 1）。

また、「ぷらっと文化祭（公演事業 3、5）」のように、様々な興味関心を持つ層が気軽に劇場に足を運べる事業の実施や、「PLAT 小劇場シリーズ チェルフィッチュの『映像演劇』（公演事業 1）」のように、舞台芸術の新しい創作方法・上演方法を提示する作品では、舞台芸術の関心層にとどまらない、美術やメディア芸術に関心を持つ層の来場も促した。2013 年の開館以降、継続的に地域の文化拠点として存在し、劇場という場が様々な人に対して開かれているとうことを、実施事業を通して提示している。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

【観客の反応】

令和3年度の助成対象事業での際に観客から回収したアンケート結果より

設問：「公演内容」についての回答

とても満足：73,9% 満足：22% どちらとも言えない：2,3% 不満：0,9% とても不満：0,9%

以上結果から、95,9%が「とても満足・満足」と回答、非常に高い満足度の事業を実施したと考える。

【観客の居住地】

平成29年度～令和3年度の助成対象事業での際に観客から回収したアンケート結果より

設問：「居住地について」

単位%	H29	H30	R1	R2	R3
豊橋市内	39	40	43.5	41.2	43
愛知県内（豊橋市除く）	43.5	42	39.4	44	41
愛知県外	17.5	18	17.1	14.8	16

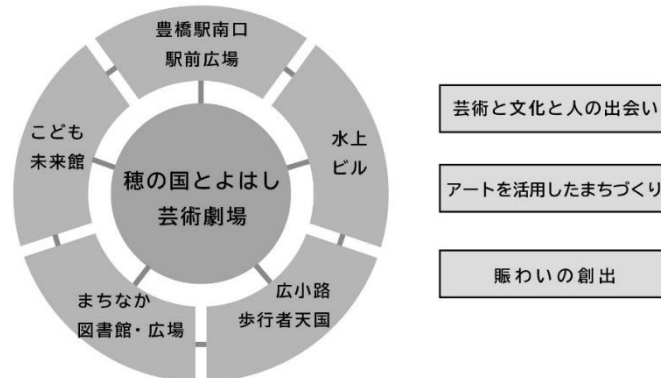
H30年度以降は、40%以上が豊橋市内からの来場者であり、続いて同程度の愛知県内からの来場者がある。80%以上がコンスタントに当館を訪れ、舞台芸術に触れていることから、豊橋市内をはじめとする東三河地域、愛知県内の文化芸術の振興に寄与しており、その期待は継続していると考えます。

【劇評】

公演事業2イキウメ「外の道」は、演劇専門誌「悲劇喜劇」「テアトロ」や美術系ウェブサイト「artscape」、新聞各社（公明新聞、朝日新聞、毎日新聞）で劇評が掲載されるなど、高い注目と評価が集まった公演であった。

【周辺地域とのかかわり】

穂の国とよはし芸術劇場は、豊橋市内の公共施設（こども未来館、まちなか図書館・広場、豊橋駅前南口広場）や、地元の商店街（水上ビル、広小路歩行者天国）などとも連携を図り、芸術と文化と人の出会いやアートを活用した街づくりを行い、豊橋市内の賑わいを創出している。これらの施設や商店街はそれぞれターゲット層が異なることから、各所と有機的な繋がりを持つことで、豊橋市を盛り上げ、支える基盤作りを行っている。



(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

【運営方針について】

穂の国とよはし芸術劇場は平成 25 年の開館以来、事業運営を「公益財団法人豊橋文化振興財団」、施設維持管理を「PFI 事業者による管理(15 年契約)」とする併用方式を用いている。当館を運営する(公財)豊橋文化振興財団は、設置自治体である豊橋市からの指定管理のもと管理運営を行っており、3 期目も令和 3 年 4 月から 5 年間の指定管理者としての指名を受けている。

【雇用について】

事業制作部と舞台技術部職員は、雇用期間に応じて雇用形態の転換を行っており、初年度に嘱託職員、2 年目から 4 年間は任期付き職員に転換。勤続 6 年目以降は無期雇用に転換している。令和 3 年度現在は以下の通り。

- ・事業制作部(無期雇用：6 名、任期付き：4 名、豊橋市からの出向：1 名、嘱託：1 名、アルバイト：1 名)
- ・舞台技術部(無期雇用：1 名、任期付き：3 名、委託業者：3 名)
- ・総務・経理部(期間を定めない雇用：3 名、嘱託：2 名)

【劇場職員および地域の人材養成について】

全国規模の劇場・音楽堂等の職員を対象とした研修に参加すると共に、講師としても関与している。

芸術文化プロデューサーは「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 2021」にて企画委員及びモデレーターを務めるとともに、文化庁委託事業の支援員として鶴岡市文化会館(荘銀タクト鶴岡)における令和 3 年度劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」による支援を実施。過去の経験や実績に基づくアドバイスをを行うと共に、自らの活動を検証し今後の活動を見直す機会となった。

事業制作部職員については、研修費や舞台公演の鑑賞費の補助を目的とした予算を確保するほか、中堅職員 1 名が令和 2 年度より「一般財団法人地域創造」に 2 年間出向し、当館の今後の経営・事業運営に関わる人材育成を行っている。

また、令和 3 年度の愛知大学文学部「演劇論」の授業に芸術文化プロデューサー・事業制作部職員を講師として派遣し、大学生向けに授業を行った。ほか、アートマネジメントを学びたい大学生にインターンシップの受入れを毎年実施している。このように劇場外への人材養成も並行して行うことで、地域の舞台芸術に関わる人材の活性化に取り組んでいる。

【他館とのネットワーク】

創造性で記載した新国立劇場との連携協定のほか、彩の国さいたま芸術劇場、水戸芸術館等の首都圏の公共劇場制作の公演を地方の公共劇場と連携し上演を行った。

【財務面】

特定費用準備資金(地域還元人材育成事業積立金)を用意し、将来の地域を担う人材育成事業を長期的・継続的に実践するための財源を確保している。

財団維持会員(年会費 3,000 円～20,000 円)・特別賛助会員(一口 50,000 円/年間)制度を設け、個人や文化団体、地元企業からのファンドレイジングを行っている。

地元企業から「特別協賛」として、年間 7 公演を対象に協賛金を獲得した。